

# 管理職としての役割

管理職として人を引っ張っていく、あるいは新しい仕事を創造していく時に、最も大切な条件の一つは時代を読む先見性です。時代を読むために必要なのは情報収集です。情報のアンテナを広げて業界の枠を超えた、幅広い分野の収集です。

コロナ禍の中、リアルでの情報収集は難しくなっていますが、ネット上では各メーカーや団体での様々なセミナーや商品紹介が行われています。上手くチョイスしていけば幅が広がっていきます。



私も高齢者&介護業界で生き生き倶楽部という異業種交流会を首都圏、関西で始めて12年目になります。毎回参加の皆様にお役に立てるよう「お役立ちセミナー」や新商品・新システムの紹介等を毎回おこなっていますが、参加に熱心な方は会での出会いやセミナー等の情報を大事にされておられるのが良くわかります。おそらく情報を集めて新しい知恵を生み出し、部下に伝えていらっしゃるものと思います。お話の中でそういったものが伝わってきます。あらゆる場面で有益な情報を取りだし、自分の知恵を添えて活かすという判断もなさっていると思われます。

このように自分の持っている知識・技術・情報・ノウハウを惜しみなく部下に伝えてこそ有益な活用ができます。

こうした場面を積み上げていくと管理職としての「人柄」が備わっていきます。

「人柄」は先見性・判断力・実行力・温かさ・潔さ・誠実さ・素直さなどの要素が重なり合ってつくられていき、その「人柄」は顔に表れ、そこに品格、品性が備わってくるのです。

優れた部下を育てる努力、優れた部下をそばに持つ勇氣、優れた部下を活用する叡智が求められます。それらを実行することで管理職としての成長につながり、それらは管理職の大きな役割といえるのではないのでしょうか。

